

一緒に考える、サンアプロ

コア技術と事業概要

熱・光応答性特殊触媒を主とした研究・開発に特化したファブレス型の企業です。熱応答性触媒は、半導体やLEDの封止剤用のエポキシ硬化促進剤として使用され、『U-CAT』シリーズを提供しています。ご要望の活性温度に応じたラインナップから選定いただけます。光応答性触媒は、酸発生剤としてフォトリソグラフィ、光造形等に使用されます。例えばスルホニウム系の『CPI』シリーズでは、各励起波長に対応したラインナップや特殊リン系アニオンとの組み合わせによる各種溶剤への溶解性向上により、ユーザーでの使用性向上に貢献しています。

注目の新技術・新展開

光学用途向けにUV硬化性と透明性を両立した「VC-1」を開発しました。UV硬化性を高くするには酸発生剤の光吸収を高くし、酸発生効率を上げるアプローチが一般的ですが、吸収帯の裾野が可視光領域に達し、硬化物が黄色味を帯びてしまいます。「VC-1」では、カチオン部分の光吸収部位の構造を最適化、可視光領域での吸収を抑えることに成功しました。さらに、UV硬化後に高温硬化プロセスがある場合、硬化塗膜が黄変する問題がありますが、「VC-1」ではアニオン部分を特殊アニオン(FGアニオン)にすることで透明性を維持することが可能です。

企業情報



1966年、有機超強塩基DBU®を世界で初めて工業化。その用途は、医療用原料中間体やエポキシ硬化促進剤などの特殊触媒として自動車、半導体製造分野など幅広い。また、2003年に光酸発生剤を上市し、光をトリガーにした機能性材料分野に進出。それらはフォトレジスト、光造形樹脂などに使用され、半導体の微細化や造形性の向上など産業界の発展に寄与している。

創 立 : 1966年4月1日
 資 本 金 : 6,000万円
 本 社 : 京都府京都市東山区一橋野本町11
 Web : <https://www.san-apro.co.jp>
 Tel : 075-382-1588(桂研究所)、
 03-3500-3492(東京営業所)

取引の多い業界分野



業界の位置づけ



お問い合わせ

京都グリーンケミカル・ネットワーク(KGC-net)事務局

〒612-8374

京都市伏見区治部町105番地 京都市成長産業創造センター

電話 075-603-6703

E-mail kgc-net@astem.or.jp